

BOTTLEBUILDERS:

Constructores de botellas y
laberintos cerámicos de
los Andes precolombinos.

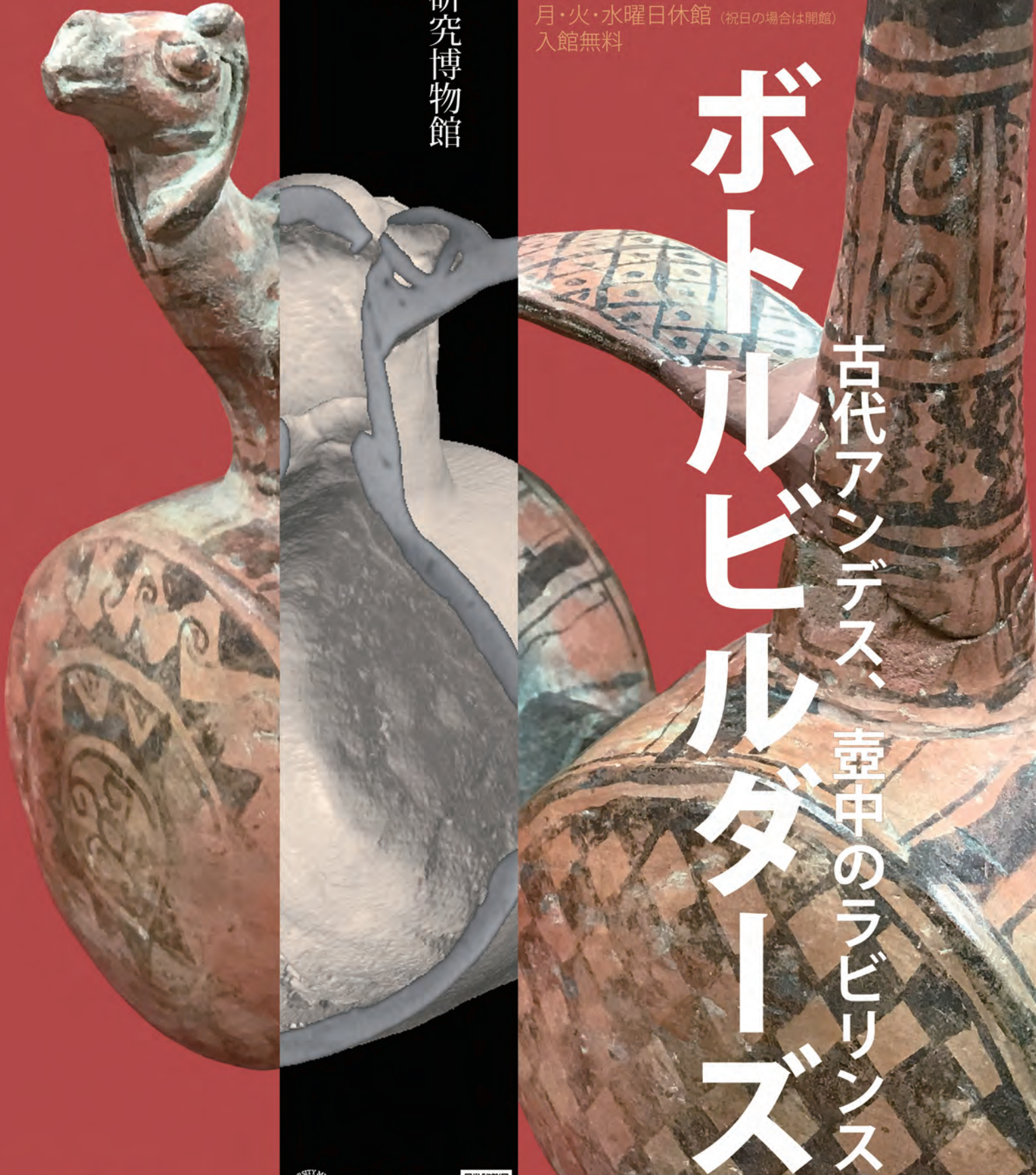
2020. 9/24 - 11/29
(Thu) (Sun)

10:00~16:30 (入館は16:00まで)
月・火・水曜日休館 (祝日の場合は開館)
入館無料

ボトルビルダーズ

古代アンデス、壺中のラビリンス

東京大学総合研究博物館
小石川分館
特別展示



主催 東京大学総合研究博物館
 共催 BIZEN中南米美術館 / 岡山県立大学 / 東海大学文明研究所、
 マイクロ・ナノ研究開発センター
 協力 東京大学駒場博物館 / 科学研究費 新学術領域研究「出ユーラ
 シアの統合的人類学・文明創出メカニズムの解明」



東京大学総合研究博物館 小石川分館 特別展示

ボトルビルダーズ

古代アンデス、壺中のラビリンス



アンデス文明は優れた陶芸作品で知られるが、とくにボトル型の土器が充実しているという点が世界の諸文明の中でも特徴的である。口縁部が小さくすぼまったボトルの形状は、組み立ての時点で製作者の指や工具がどのように内部に入りえたのか、そしてどのように抜いたのか、という謎を投げかけてくる。またボトルの内部は液体と気体がせめぎ合いながら移動する空間であり、中には内蔵されたホイッスル<笛玉>へと空気を誘導し、音を鳴らす機能を持つ複雑な笛吹きボトルもある。こういった古代アンデスのボトルの形状は静態的ではなく、人体/工具や液体/気体が入り、そして出ていくという動的な視点で捉え直す必要があるのだ。本展ではとくに笛吹きボトルを中心として、X線CTや写真による3次元計測、レプリカ制作など専門的な手法による、このラビリンスの攻略を紹介する。

鶴見英成（東京大学総合研究博物館 助教）



特別展示 『ボトルビルダーズ——古代アンデス、壺中のラビリンス』
 開催場所 東京大学総合研究博物館小石川分館/建築ミュージアム 2階
 所在地 東京都文京区白山3-7-1
 アクセス 東京メトロ茗荷谷駅より徒歩8分
 イベント 建築博物教室「土笛のアーキテクチャ」
 講師：真世士マウ（岡山県立大学デザイン学部/セラミックデザイン）日時・開催方法については展示HP参照のこと
 お問い合わせ ハローダイヤル 050-5541-8600

A: 岡山県立大学におけるレプリカ制作実験 B: 東京大学総合研究博物館におけるX線CT分析
 C: BIZEN中南米美術館蔵 D: 東海大学文明研究所蔵 E: 東京大学駒場博物館蔵

